

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">1</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 番 櫻 庭 節 子</p>	<p>1. 空き家の活用について</p> <p>(1) 市内の空き家の現状把握はどの程度進んでいるか。</p> <p>(2) U I J ターン促進を見据えた空き家活用に向けて、どのような取組を考えているか。また、地方創生の取組の中で施策は組めないか。</p> <p>(3) 現在、空き家の担当課は建築住宅課だが、今後空き家を有効活用したU I J ターン促進施策に取り組むとすれば、自治・市民環境部に担当を置くべきと考えるが、組織的にはどのように対応していくつもりか。</p> <p>(4) 域学連携推進事業の空き家を活用して学生に住んでもらう新たな取組について、進捗状況はどうか。</p> <p>(5) 市内で自主的に空き家を活用した移住促進の取組を行っている地域がいくつかあるが、その取組をどのように捉え、分析しているか。</p> <p>2. 通いの場と生活支援コーディネーターについて</p> <p>(1) 通いの場の進捗状況と課題はどうか。</p> <p>(2) この事業によって到達したい介護予防の観点での目標は何か。また地域づくりの観点での目標は何か。</p> <p>(3) 包括的支援の実現のためには、地域の人材・組織の掘り起こしの支援を行い、連携をしていくことが重要と思われるが、その使命を担った生活支援コーディネーターの研修の現状及び課題を聞きたい。</p> <p>(4) 住民組織ができていない地域では、今後どのようにして住民組織を立ち上げていくのか。</p> <p>3. 動物愛護に向けた取組について</p> <p>(1) 当市における動物虐待、多頭飼育崩壊の現状はどうか。</p> <p>(2) 全国には動物愛護条例を作り、市民のペット飼育環境と動物愛護意識の向上を図っている自治体がある。当市でも飼い主のいない猫の避妊を行いやすくするための施策や、多頭飼育の場合の届出義務等を盛り込んだ条例制定などを考えるべきではないか。</p>
<p style="text-align: center;">2</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">12 番 杉 田 勝 典</p>	<p>1. 高齢者支援について</p> <p>(1) 今後の医療介護サービス提供体制をどのように見通しているか。</p> <p>(2) 妙高市などと連携した広域での医療介護ネットワークシステムの現状はどうか。</p> <p>2. 地方創生の取組について</p> <p>(1) 策定を進めている地方版総合戦略は、策定後の取組により、どのように当市の発展につなげていくのか。</p> <p>(2) 中山間地の再生のために、地域産業おこしプロジェクトを立ち上げて、新たな産業創出に取り組む考えはないか。</p> <p>3. スマートフォンを用いた春日山観光について</p> <p>(1) 北海道美唄市では、映像で観光地を疑似体験できるスマホ用アプリ「バーチャルリアリティ観光体験」を配信しているが、当市でも、春日山観光や上杉謙信公のPRに用いる考えはないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
3 7 番 中 川 幹 太	<p>1. 再生可能エネルギーの普及促進について</p> <p>(1) 当市で将来見込まれる再生可能エネルギーの発電量と発電割合はどのくらいで、どの発電方法の供給量が有望と予測しているか。また、その他のエネルギー源として有望なものについての研究を行っているか。</p> <p>(2) 上越市再生可能エネルギー導入計画では、小水力発電の供給量は0.2TJ/年を見込んでいる。しかし、広大な当市では、さらに供給できる可能性があると思うが、どう考えるか。</p> <p>2. 介護認定率の低減策について</p> <p>(1) 埼玉県和光市では、地域ケア会議で介護対象者の回復に向けた課題と対応を明らかにし、目標を立てて取り組むことで、介護認定率の低減を実現している。当市も同様の取り組みを行い、介護認定率を低減する目標を立てるべきではないか。</p> <p>(2) 市民が健康になることで、特別養護老人ホームなどの入所施設が不必要となる。介護認定率の低減に向けた取り組みに合わせ、入所施設を低減する目標も立てるべきではないか。</p> <p>(3) 和光市では、介護認定率の低減に向けた取り組みにあたり、地域包括支援センターの人員や機能を強化し、支援を個別化させている。当市でも同様の対策を行うべきではないか。</p> <p>3. 地域の特定財源の扱いについて</p> <p>(1) 中郷区において、勝ち馬投票券の特定財源について、平成30年で基金への積立や使用を中止する案が出ており、地域住民からは不満の声が出ている。このような、地域特定の財源を廃止する取組を見直す考えはないか。</p>
4 26 番 近 藤 彰 治	<p>1. 北陸新幹線による騒音・振動等の問題について</p> <p>(1) 北陸新幹線沿線では、開業時から騒音・振動・水枯れなどの問題が発生している。市としてはどのように認識し、鉄道建設・運輸施設整備支援機構などに対して、改善策などを要望しているか。</p> <p>(2) 機構では北陸新幹線開業に先立ち、長野～金沢間の線路近くの路上で騒音の一次測定を実施し、その結果を基に環境基準値の70デシベルを超えそうな住宅敷地内で二次測定を行っているが、一次測定と二次測定の結果を聞きたい。また、二次測定で基準値以上となった住宅等への対応はどうなるのか。</p> <p>(3) 新潟県は開業後の3年間は環境対策に関する予算を計上し、国の委託事業で当市と糸魚川市の計15地点で騒音を測定するとしている。一方では、機構も騒音の二次測定を行っているが、双方のすみ分けはどうなのか。</p> <p>2. 都市計画道路本町大貫線の未着工部について</p> <p>(1) 本町大貫線未着工部について、平成26年12月定例会で防災上の観点から早期着手に向けた一般質問を行ったが、その答弁では、「鉄道事業者のJR東日本と、踏切と道路の立体交差を平面交差に変更するための協議を行っている。基本的には安全性の面から立体交差が望ましいとの見解がJR東日本から示されたが、北陸新幹線開業後、当該路線を運営するえちごトキめき鉄道とも協議をしたい。」としていた。その後、えちごトキめき鉄道との協議はどうなったのか。</p> <p>(2) 防災上の観点から、踏切との交差部を含めた未着工部の早期着手に向けて、関係機関と協議を進めるべきではないか。また、本町通りから儀明川の間は一部整備されているが、これまでの歴史的な経緯も含め、市の早期着手に向けた考えを聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
5 20番 武藤 正信	<p>1. 農業政策について</p> <p>(1) 複数年の小作契約をして経営規模を拡大している稲作経営者にとっては、昨今の米価低迷は農業経営に悪影響を及ぼしている。稲作経営者からは地主との小作料の減額改定に向けた協議も必要との悲痛な声を聞いている。その協議の際、農業委員会から標準小作料を示してもらえると協議もスムーズにいくと考えるが、農業委員会で標準小作料を示してもらえないものか。</p> <p>(2) 高齢者等肉牛飼育モデル事業基金が創設されているが、その基金の成り立ちと現状を聞きたい。また、今後基金の取り扱いはどうなるのか。</p> <p>(3) 十日町市では、都会の人から農業体験をしてもらうために、多少の制約はあるようだがバスの無料送迎を行っている。当市でも同様の取組や、新たな農業体験の普及に向けた企画を検討する考えはないか。</p> <p>2. 少子化対策について</p> <p>(1) 当市の年間出生数について、合併当時は約1,800人だったが、現在は約1,400人にまで減少している。早急に抜本的な対策を講じないと深刻な状態に陥ると考えるが、人口減少対策に向けた方針と対策を聞きたい。</p> <p>(2) 平成26年度の大島区での出生数は6人と聞いている。このままで行くと、大島小学校への入学者数や、その6年後の大島中学校への入学者数も6人となる。また、柿崎中学校では、平成32年度入学者数が50人をわずかに超える人数になると想定しているが、市はこのような現状を踏まえ、小中学校の統廃合について、学区の編成をもう一步踏み込んで進めていく必要があるかと思うが、どう考えるか。</p> <p>3. 乳幼児健診について</p> <p>(1) 乳幼児を対象にした健診は、当市では満4歳に到達するまでの間、合計6回の集団健診が行われ、13区では年複数回の健診日を設け、対象区ごとに行われてきた。現在、複数の区を合わせて健診を行う体制に移行しているが、一部の遠方から健診に訪れることになる保護者にとっては重荷になると思うが、考えを聞きたい。</p>
6 2番 石田 裕一	<p>1. 0歳から18歳までの障害のある子どもたちへの支援について</p> <p>(1) 保育園・幼稚園に入園する前の障害児に対する療育や保護者への支援の現状を聞きたい。</p> <p>(2) 子どもが保育園・幼稚園に入園し、小学校・中学校・高校へと進学していく中で、十分な支援を行うためには、福祉課、健康づくり推進課、保育課、こども課（こども発達支援センター）、すこやかなくらし支援室、教育委員会など、福祉行政と教育行政の連携や専門職員の配置が必要と考えるが、当市の現状を聞きたい。</p> <p>(3) 当市には「児童発達支援センター」がないが、その理由を聞きたい。</p> <p>2. 結婚へのサポートについて</p> <p>(1) NPO法人地域活性化支援センターが展開する「恋人の聖地プロジェクト」に、当市の鶴の浜温泉海岸が認定されている。これをより積極的にPRする考えはないか。</p> <p>(2) 地域の食材や伝統工芸品を使用し、近所の知り合いも含めた多くの人を呼んで、地域の名所・旧跡を会場に結婚式を挙げる「ふるさとウェディング」が注目を集めている。当市でも、結婚式のための名所・旧跡等の利用を認める考えはないか。また、「ふるさとウェディング」の形式での挙式に対し、支援金を助成するなどの取組はできないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
7 5 番 滝 沢 一 成	<p>1. 高田公園基本計画について</p> <p>(1) 高田公園ソフトボール場の駐車場・広場化をはじめ、様々な整備や改修等が示されている。それぞれの具体的姿を明らかにしてほしい。</p> <p>(2) 高田公園北側にある国家公務員住宅及び空き地の利用について、展望はあるか。</p> <p>(3) 市政運営において目標とするまちの姿「すこやかなまち」という視点から、10年後、20年後の高田公園はどのようなになっているべきか、ランドデザインを聞きたい。</p> <p>2. 高田地区中心市街地の活性化について</p> <p>(1) あすとびあ高田に日本政策金融公庫が入ると発表された。これまでの規定上、問題はないか。また、賑わいを創出するものとなるのか。</p> <p>(2) 2核1モールを形成し、既に2年以上経過したが、賑わい創出という観点から、どれだけ賑わうようになったか、具体的数値で示してほしい。</p> <p>(3) 旧第四銀行をまちの賑わいに生かしたいという声が沸々とある。現在の事務所及びイレギュラーなイベントの開催という限られた利用では、何ら賑わいをもたらしていないという見方もある。もっと有効な利用を図られないか。</p>
8 21 番 宮 崎 政 國	<p>1. 農業関連等の施策・対策について</p> <p>(1) 農業従事者の高齢化が危惧されているが、担い手の年齢構成の現状と将来的な育成方針など具体的展望を聞きたい。</p> <p>(2) 今夏の当市管内の平地、中山間地における干ばつの被害状況及び用水源の貯水（取水）状況をどのように捉えているか。</p> <p>(3) 笹ヶ峰ダムの貯水量確保のため、今後の渇水対策として堆積土砂の撤去等が必要と思うがどうか。</p> <p>(4) 当市域の土地改良事業も関係者の尽力・支援により大きく進み、効率的な農作業が進められている。今後、維持管理費が大きな課題となるが、市としての支援策を聞きたい。</p> <p>(5) 農道やため池などの管理の実態と管理体制を聞きたい。</p> <p>2. 観光振興策について</p> <p>(1) 当市の観光振興施策について、一定の計画はあるが、改めて誘客促進を図る際の目玉となる観光（地）をどこに据えているか。また、誘客促進に取り組む際の観光（地）の組み合わせの基本や「通年観光のコース設定」、「イベント観光」の一層の充実をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(2) インバウンド（外国人観光客の誘致）の取組について、関係団体などによる取組が一部見えてきているが、市の基本的な考え方と取組の現状、今後の方針を聞きたい。また、インバウンドの受入れ体制の充実をどのように考えているか聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">30 番 石 平 春 彦</p>	<p>1. 上越妙高駅の利便性、安全性の向上と活用策について</p> <p>(1) 6月定例会の答弁を受けて、以下の点について改めて考え方を尋ねる。</p> <p>ア 待合所の増設</p> <p>イ 脇野田通りのベンチの増設</p> <p>ウ 「脇野田通り」の表示板の設置</p> <p>エ 2階に公衆トイレの設置、あるいは駅構内のトイレを気軽に使えるような当面の改善方策の実施（誘導サインの設置など）</p> <p>オ ロータリー乗降場に駐車する車両の規制や駐車させないような注意喚起の方策の実施</p> <p>カ ロータリー等の段差の解消</p> <p>キ 脇野田通りでの継続的な催しに対する市の主体的積極的な仕掛け（地場農産物や山菜の市など）</p> <p>ク 上越大通りの歩道の降雪前の暫定的な整備</p> <p>(2) ロータリーの横断歩道や2階のトイレなど、設計段階で、なぜ利用者の気持ちに沿った配慮ができなかったのか。また、乗降場への駐車などの問題提起に対し、なぜより良い方向できめ細かな改善策を考えようとする姿勢を持たないのか。</p> <p>2. 「広域拠点」と「質の高い新都市空間」にふさわしい上越妙高駅周辺地区の整備・開発について</p> <p>(1) 「北信越地域の広域的な拠点性の強化」という市の土地利用方針の位置付けが、開業半年後の現時点までに、どう具現化されたのか、あるいは今後どう具現化されるのか、明らかにされたい。</p> <p>(2) 広域的な拠点性に欠かせないコンベンションを中心とした複合的機能を有する核施設について、整備のために尽力する意思はないのか、改めて考え方を尋ねる。</p> <p>(3) 商業施設誘致に対する市としての主体的・積極的な取組姿勢を市長を先頭に行動で示し、広く世の中に情報発信すべきと思うが、どうか。</p> <p>(4) 都市再生整備計画事業の既存市街地部分の進捗状況と今後の見通しを明らかにされたい。また、「第2期以降実施事業」に位置付けられている既存市街地の公園整備はどうなっているのか、事業具体化の方針を明確にされたい。</p> <p>(5) 上越大通り（薄袋荒町線）の県施行の拡幅事業の現状と見通しはどうか。</p> <p>(6) 駅前通り（脇野田岡原線）の県施行の電線地中化事業の現状と見通しはどうか。</p>
<p style="text-align: center;">10</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 番 小 林 和 孝</p>	<p>1. 上越市第四次観光振興5か年計画の成果について</p> <p>(1) 「上杉謙信公」による当市の観光イメージの確立など、5つのプロジェクトを掲げて取り組んできた。本年度は計画の最終年度に当たるが、計画に掲げた以下のプロジェクトについて、これまでの取組の成果を聞きたい。</p> <p>ア 当市ならではの観光資源の磨き上げとPRについて</p> <p>イ 受入体制の充実について</p> <p>(2) 上杉謙信公ゆかりの地をめぐるリレー講演会を通じて、直峰城、箕冠城など会場となった城跡をはじめ、各地区の城のイメージ及び市民の関心は向上したか。</p> <p>2. 謙信公祭におけるGACKT氏の招へいについて</p> <p>(1) 本年の謙信公祭は、入込客数24万3,000人、経済波及効果5億8,000万円を記録した。GACKT氏招へいによる効果をどう評価したか。</p> <p>(2) 有名人の招へいによる集客については、意見の分かれるところであるが、大勢の方に来ていただき、当市をアピールできる有効な手段のひとつだと思うがどうか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
11 1 番 田 中 聡	<p>1. 子育て支援の強化について</p> <p>(1) 第6次総合計画の基本施策「子育てに関する負担や不安の軽減」において、出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合の数値目標を掲げているが、この目標について、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 子育て家庭への経済的支援として、子ども医療費助成制度を現行の中学校卒業までから、高校卒業までに延長する考えはないか。</p>
12 13 番 草 間 敏 幸	<p>1. スポーツ等の合宿の誘致について</p> <p>(1) 市外の団体が、市の体育施設等と市内宿泊施設を利用して行う合宿について、こうした合宿の実態と合宿誘致の取組はどうか。</p> <p>(2) 本年10月から公の施設の使用料が改定され、市外の団体が利用する場合は、市民が利用した場合の200%の使用料となる。このような大幅な値上げは、市外団体が当市での合宿を敬遠する要因とならないか。</p> <p>(3) 市は、公の施設の使用料の改定に伴い、減免制度の見直しを検討しているが、交流人口の拡大や経済波及効果の観点から、市外団体が市内で合宿を行う場合の減免基準が必要ではないか。</p> <p>2. 北陸新幹線開業後の「越五の国」観光戦略について</p> <p>(1) 北陸新幹線開業から半年が経過し、上越妙高駅は「ようこそ。越五の国へ。」の機運が感じられなくなっているが、5市の魅力を結集して全国に発信することを目的とした広域連携の今後のあり方について聞きたい。</p> <p>(2) 越五の国の魅力をつアールで巡る6つのモデルコースを紹介しているが、観光客の反応と利用実績はどうか。また、旅行エージェントへの売り込み、商品化はできたか。</p> <p>(3) 上越地域のインバウンドの拡大には、地域の潜在力を生かした取組が必要であり、「越五の国」の広域連携は重要と考えるが、広域連携によるインバウンド戦略の考えはどうか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">13</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">24 番 上 松 和 子</p>	<p>1. なおえつ海水浴場の安全対策について</p> <p>(1) 3月定例会において、なおえつ海水浴場の安全管理について質問したが、今シーズンは、どのような安全対策を講じたのか。</p> <p>(2) 過去に水上バイクと遊泳者による衝突事故があったが、安全に、かつ安心して海水浴やマリンスポーツを楽しむため、条例を制定する考えはないか。</p> <p>2. 食品ロス等削減の取組について</p> <p>(1) 3月定例会において、当市における食品ロス等削減の取組について質問したが、市長からは「何らかの形で、事業者の皆さんから協力いただけるような取組ができればいい」との答弁があった。どのように取組を進めたのか。</p> <p>(2) 3月定例会において、宴席等の終了前の一定時間に料理をゆっくりと楽しむ「食べきりタイム」の提唱について提案したが、市長からは「一律に提唱するには難しい面がある」との答弁があった。食べ残しの削減には大きな効果があると考えているが、改めて市長の考えを聞きたい。</p> <p>3. 高齢者を狙った「特殊詐欺」の被害対策について</p> <p>(1) 市内でも、オレオレ詐欺や還付金詐欺など被害が後を絶たない。現状をどう認識しているか。被害防止のため、市として更なる取組が必要と考えるがどうか。</p>
<p style="text-align: center;">14</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">17 番 渡 邊 隆</p>	<p>1. 災害時におけるペットの救護対策について</p> <p>(1) 大規模災害時にペットの救護対策をどのように講ずるかは、動物愛護の観点だけでなく、被災者である飼い主の避難生活支援や放浪動物による人への危害防止、生活環境保全の観点からも重要な課題と考える。市は十分な救護対策を考えているか。</p> <p>(2) 災害発生直後において、行政による動物保護活動の開始が困難な場合の初動体制において、国の定める改正動物愛護管理法における、動物愛護推進員との協力、連携体制をどのように考えているか。</p> <p>2. 都市計画道路高土町東城町線の検証について</p> <p>(1) 都市計画マスタープランに基づき、都市計画道路高土町東城町線の一部区間の計画廃止の方針が示された。将来的にも当市の核となっていく高田公園周辺のアクセスや、現在建設中の道路網などの接続を考えると、廃止方針は拙速と考える。この間の検証について詳しく聞きたい。</p> <p>(2) この計画道路の法線上に、長きにわたって生活してきた住民にもそれぞれに将来設計があったものとする。市は、このたびの一部区間廃止の方針を該当地区の住民に説明し、理解を得られたとしているが、その地区の住民への説明だけで十分なのか、市の考えを改めて聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p>15</p> <p>8番 平良 木哲也</p>	<p>1. 介護予防事業について</p> <p>(1) 市は全国に先駆けて新総合事業を実施しているが、現段階での状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 多様なサービスの導入について、サービス事業者は、どのように取り組んでいるか。また、サービス利用者の反応はどうか。</p> <p>2. 子育て支援について</p> <p>(1) 子どもの医療費助成制度の拡充に関する現時点での考えを聞きたい。</p> <p>(2) 市内の保育園では、0～1歳児の年度途中の入園がきわめて困難であるが、これにどのように対応する考えか。</p> <p>(3) 子どもの一時預かり制度の現状はどうなっているか。市民ニーズに十分に答えるものとなっているか。</p> <p>3. 安全保障関連法案について</p> <p>(1) 安全保障関連法案、いわゆる「戦争法案」では、自衛隊員が戦闘状態の地域へ派遣される可能性がきわめて高まることになる。自衛隊の駐屯地があり、市民の中にも自衛隊関係者が多数存在する市の市長として、この法案に関してどのように考えているか。</p>
<p>16</p> <p>22番 上野 公悦</p>	<p>1. 原子力災害について</p> <p>(1) 上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 避難計画策定に際し最も重要だと位置づけている点は何か。</p> <p>イ 上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画（初版）（案）によると、当市における避難準備区域（UPZ）内の防護措置の基本を屋内退避としている。この根拠は何か。</p> <p>ウ 泉田知事は、原子力規制委員長と面談し、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の活用を求めたが、市長の考えはどうか。</p> <p>エ モニタリングの結果を踏まえ、区域を指定して一時移転又は避難を開始するとしているが、モニタリング体制は整備されているか。</p> <p>オ 複合災害時や発生時間帯ごとの想定をはじめ、避難手段、バスの確保やヨウ素剤の住民への配布方法など、詰めていかなければならない問題が多い。避難計画の実効性を高めるために今後どのように取り組んでいくのか。また、住民への周知と理解に向けてどのように進めていくか。</p> <p>カ 要配慮者の避難支援について</p> <p>(ア) 在宅者は、「上越市避難行動要支援者避難支援プラン」及び「避難行動要支援者毎の個別計画」に基づき避難することになっているが、計画の策定状況はどうか。また、課題となっている点は何か。</p> <p>(イ) 社会福祉施設入所者、医療機関入院患者等は、各施設、機関があらかじめ定めた避難計画に基づき避難することになっているが、避難計画の策定状況はどうか。市が積極的に関わるべき課題は何か。</p> <p>(2) 県内28市町村が東京電力と締結している柏崎・刈羽原子力発電所に係る「安全確保に関する協定書」に立地自治体との協定と同様の「計画等に対する事前了解条項」を求めるべきと思うが市長の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 原発再稼働に対する市長の考えを聞きたい。</p> <p>2. 公の施設利用料の減免について</p> <p>(1) 減免についての基本的考え方と基準について明らかにしてほしい。子どもたちの健全育成に関する利用は、100%減免にすべきではないか。また、この間、各団体などと協議・説明会などを行ってきているが、その状況について聞きたい。</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブの位置づけについてどう考えるか。また減免措置などを含む支援についてどのように考えているか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17 28 番 内 山 米 六	<p>1. 人口減少時代の当市の在り方について</p> <p>(1) 15年後の当市の人口は、平成17年比82.6%の173,557人まで落ち込むと推計されている。この時代においても、健全な財政を維持しつつ持続可能な行政運営が求められるが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 公の施設の再配置計画について</p> <p>(ア) 平成27年2月策定の「公の施設の再配置計画」では、公共施設の延床面積について、市内地区別や特例市、県内20市の比較検討を試みたにもかかわらず、実際の目標は、平成30年度末時点で「約820の公の施設について、概ね1割の施設が再配置されている状態」としている。この目標設定は、明解さに欠け、説得力がないと考えるが、見解を聞きたい。</p> <p>(イ) 計画では、「人口減少と年齢構成の変化への対応」、「施設の過剰感、重複や不均衡な配置への対応」、「施設更新等に係る財政負担の抑制への対応」、「施設機能の維持・向上への対応」という4点の課題認識を示し、平成30年度末の目標を「概ね1割の施設が再配置されている状態」と掲げている。この目標が達成できれば、4点の課題はクリアできるか。</p> <p>イ 第3次定員適正化計画について</p> <p>(ア) 計画では、平成27～34年度で合計192人を削減するとし、職種ごとの削減計画数値はその合計で示されている。計画初年度である平成27年度は、既に27人削減済みだが、具体にはどの職種で削減されたのか。</p> <p>(イ) 当市の現状は、広い市域に人口が分布していることから、行政サービスの提供に多くの職員を必要としている。こうした現状に照らし、同計画のとおり職員を削減しても、十分な行政サービスが提供できるとの考えであるか確認したい。</p> <p>ウ 行政組織機構について</p> <p>(ア) 今後において、超人口減少時代と言っても過言ではない時代を迎えるが、この時代の行政組織機構をどのように考えているか。</p>
18 19 番 江 口 修 一	<p>1. 生活習慣病等予防対策について</p> <p>(1) 健康診査結果一覧について、市は国民健康保険で予防対策に利用しているが、協会けんぽや共済組合などにも利用を広げることにはできないか。</p> <p>(2) 市では、生活習慣病の予防指導を希望する職場等があった場合、出前指導を行っているが、職場等の反応や成果はどうか。</p> <p>(3) 高齢者の閉じこもり予防や地域住民との交流、生きがいをづくりなどの場として、28区に「すこやかサロン」を設けているが、面積の大きい区などには、利用者に配慮して複数会場を設けてはどうか。</p> <p>2. 直江津・五智地区の賑わい再生について</p> <p>(1) 新水族博物館を核とした地域活性化検討会の進捗状況はどうか。また、ワークショップで検討されている取組案の実現性はどうか。</p> <p>(2) 賑わいが再生すれば、ソフト事業だけでなく駅前通りの街路整備や電線地中化などのハード事業も必要になると思うが、どのように考えているか。</p> <p>(3) まちなか回遊策で旧直江津銀行の活用は重要と思われる。そこで、施設を増改築して、新たに直江津・港の歴史や偉人などを紹介する場として活用も含めて、整備を検討できないか。</p> <p>(4) 五智地区の交通公園の充実に向けて、センター棟や新たな遊具を設置する考えはないか。</p> <p>(5) 直江津の賑わい再生のため、直江津駅北口の日本たばこ産業跡地を確保する考えはないか。</p>

